

指導者の育成とスキルアップ

ガールスカウトの指導者は、定期的な講習会や研修会を通して、よりよい指導ができるように研鑽を重ねています。

- 養成したガールスカウトの指導者：1,497人
- 開催した指導者研修会：309回



子どもの保護と安全に関する成人会員ガイドライン

ガールスカウト日本連盟は、子どもの命と心を守るためのガイドラインを設けています。活動に関わる成人は、毎年ガイドラインを確認する場を設け、安全の確保や人権の尊重への理解を深めるよう働きかけています。

子どものための人権教育リーダー養成

人権を尊重し、ジェンダーの平等について学ぶ参加型プログラムを実施することができる指導者を育成しています。ワークショップを通して、家庭内暴力やセクシュアルハラスメントなどについて、体験を通し学び、指導できるようになります。この研修を受講すると小学校1年生から25歳までの少女や若い女性に教育プログラムを実施できるようになります。全国6カ所で研修会を実施し、ガールスカウト会員外も含めた108人の指導者が誕生しました(累計997人)。

※ガールガイド・ガールスカウト世界連盟と、UN Womenが協働開発した教材を用いています。



Girl Scouts Activity Report

ガールスカウト活動報告 2019.4 ▶ 2020.3



45万人

これは2019年度にガールスカウトの活動を伝えた人の数です。ガールスカウトは「社会とつながる」ことを意識し、地域の人々と共に、よりよい社会のために声を上げ、チャレンジし続けます。2019年度の主な活動と、日本のガールスカウト運動100周年に向けての取り組みをご報告します。

インターネットを活用した情報の発信

地域の活動グループがSNSを活用し、活動を紹介しています。



日本連盟では、「ガールスカウトの日」の活動や 野外活動、国際的な活動の写真を集約し、紹介しています。また、キャンペーンを年3回実施し、幅広い年代のガールスカウトが積極的に取り組み、日ごろの活動を分かりやすく社会に向けて発信する機会としています。

日本のガールスカウト運動100周年記念事業の取り組み

2020年、日本のガールスカウト運動は100周年を迎えました。

コミュニティアクション チャレンジ 100 アワード
少女と女性の視点に立ち、社会によりよい変化をもたらす優れたプロジェクトを「コミュニティアクション チャレンジ100アワード」とし、表彰しています。今年は66件の応募があり、7グループを表彰しました。



100周年特設ウェブサイト公開

100周年を記念し、特設ウェブサイトを公開しました。少女と女性のエンパワメントに貢献してきた100年の歴史をバッジとユニフォームでふりかえりながら、社会をよりよく変えていく人材をはぐむガールスカウトが、未来に向けて挑戦し続けていく決意を広く社会にお伝えしています。

全国で一斉に「ありがとうの輪」

5月22日の「ガールスカウトの日」を中心に年間を通して、全国でガールスカウトがイベントを開催。ガールスカウトの普段の活動を体験できるイベントや、地域での社会貢献活動などを通して「ありがとう」の輪を広げています。



公益社団法人
ガールスカウト日本連盟

〒151-0066 東京都渋谷区西原1丁目40番3号
TEL.03-3460-0701 FAX.03-3460-8383
E-mail: gsj@girlscout.or.jp URL: www.girlscout.or.jp

100周年特設サイト | Facebook | メールマガジン (月2回(第2・4火曜日)の定期発行) | KIZUNA Line 防災・減災プロジェクト | LINE ID: @girlscoutsofjapan | Twitter | Instagram | ブログ (不定期(月2回ほど更新)) | Stop the Violence キャンペーン #じぶん部 | YouTube

わたしが変わる。未来が変わる。

ガールスカウトは少女と女性の視点に立って、より幸せな社会と未来の実現を目指し、リーダーシップを発揮できる人材を育成するとともに、社会に変化をもたらすチェンジエージェントとして行動します。

2020年、日本のガールスカウト運動は100周年を迎えました。



公益社団法人ガールスカウト日本連盟

2019年度の主な活動・取り組み

国内47都道府県に4万人、
世界150の国と地域に
1千万人の仲間がいます

ガールスカウトは一生を通して経験できる生涯学習— journeyです。ガールスカウトは少女と若い女性に、年代に応じたさまざまな体験プログラムを提供し、「自ら考え行動できる女性」「責任ある世界市民」を育てています。NGOや企業と連携するプログラムの実施や、地域の団体との連携など、パートナーシップを組むことで、よりグローバルな視点を持って地域に根付いた活動を展開しています。

「ジェンダー平等を実現しよう (SDG5)」を中心とした持続可能な開発目標 (SDGs) 実現に向けての取り組み



ジェンダー平等実現 (SDG5) を目指すアクションとチャレンジ

Stop the Violence (STV) キャンペーン ～みんなでつくる 差別と暴力のない世界～

ジェンダーによる差別や暴力をなくし、人権を尊重するための教育プログラムの普及に取り組んでいます。高校生・ユース年代のガールスカウトが、ワークショップ「#じぶん部 ジェンダー ×わたし」などの活動を通して、女性の活躍を阻む社会問題について考えました。デートDVについても学び、少女や若い女性がキャンペーンをおこなっています。



Free Being Me

社会で形成されている作られたイメージに疑問を投げ、自分の外見に対する自信のなさから、いろいろなことに挑戦できない少女たちが、自分の外見を前向きにとらえて自己肯定感を高めるプログラムです。少女の可能性を最大限に伸ばすことを目指しています。ダヴと協働し、北海道をはじめ7県12会場で子どもキャンプ、親子参加イベントなどをおこないました。

※ガールガイド・ガールスカウト世界連盟とDOVE (ダヴ) が協働開発したプログラムです。



ワコール「ツボミスクール」

少女たちが思春期の心やからだを正しく理解し、健康で美しい女性になってほしいという(株)ワコールの取り組みに、ガールスカウト(小学4年～中学生)と、母親、リーダーが参加しています。

#じぶん部

社会で毎日起きている、たくさんの問題に自分ごととして取り組み、変化をもたらすための活動

アドボカシー活動

- ・ジェンダーに関する女子高校生調査を実施
- ・院内集会「女子高校生が考える、ジェンダーバイアスがなくなる原因と解決策」では女子高校生の声を届けるべく、調査結果の考察と解決策を発表
- ・男女共同参画推進フォーラムにて女子高校生の置かれている現状を発表
- ・『「ジェンダー」に関する女子高校生調査報告書』を発行
- ・ジェンダーに関する大学生年代調査実施
- ・大学生調査報告会(新型コロナウイルス流行により中止)



ジェンダー×社会 SPEAK OUT!!

歴史的な背景や現代社会の状況を含めてジェンダーによる差別や暴力が社会に与える影響を知り、問題を自分ごととして捉え、解決するための具体的な方法を学び、考え、行動を起こせるようになりました。(参加者:高校生年代42人)



メディア×社会 TAKE ACTION

メディアにより作られたイメージが及ぼす影響を知り、メディアに影響されている人々の意識を変えるために、誰にアプローチするのが効果的なのか、問題を解決するための具体的な方法を学びました。(参加者:高校生年代31人)



社会に働きかける取り組み 防災・環境

防災・減災への取り組み「めざせ防災マイスター」

自然災害に備え、2016年から「防災マイスタープログラム」を展開しています。生活に役立つ技術を身に付け、身の回りの物を工夫して使い、仲間と協力することは、災害時に役立つ大きな力となります。ガールスカウトでは教材を活用し、体験しながら防災の知識とスキルを身に付けています。2019年度は国立研究開発法人防災科学技術研究所と包括協定を結び、「防災の科学 講演会」と全国4カ所で「防災科学教室」を開催しました。



自分たちが住むまちの防災と安全を考える

公共電話の使い方 啓発教材の活用

東日本電信電話(株)(NTT 東日本)よりご提供の啓発教材を利用し、(公財)日本公共電話会に協力いただき、地域に設置されている公共電話の場所を確認し、公共電話のかけ方を学びました。公共電話の使い方開催件数:16件(東日本14件、西日本2件)



ピースプロジェクト Greener × Greener II

私たちが住んでいる地域の環境を知り、地球を守るさまざまな取り組みをしています。



リーダーシップを培う

STEM教育の機会

マイクロン財団との協賛、Girls in Tech Japanの協力により、国際ガールズ・デーにガールズ・デー特別イベント「私の未来を考える～AI時代に必要なSTEMとは～」を開催しました。(参加者:中学生、高校生23人)



GIRLS CHALLENGE CAMP

大自然の中でSDGsや気候変動について学ぶキャンプ。問題解決のために自分が取り組めることは何かを考え、行動できるようになります。(参加者:高校生年代58人)



「世界一大きな授業2019」

中高生による国会議員のための「世界一大きな授業2019」が開催され、中高生のガールスカウト4人(全8人中)が先生となり、参加した国会議員に向けて授業をしました。



グローバルな視野を培う

日本とミャンマーの協働プロジェクト

Reach Out Project 2019 Girls' Health and Rights

参加者各自がプロジェクトを計画し実施するための学習会を実施。

水汲みで途上国の少女と女性を支援する 歩く国際協力「Walk in Her Shoes」

(公財)ケア・インターナショナル ジャパンが主催する歩く国際協力「Walk in Her Shoes 2019」キャンペーン。全国から高校生のガールスカウト56人がジュニア・アンバサダーとして活躍しました。各地域でチャリティーイベントを開催。コミュニティアクション チャレンジ 100アワードの取り組みにもなりました。



海外派遣

- ・「第13回アジア太平洋地域会議」(台湾) 日本連盟派遣団として5人参加
- ・「アジア太平洋地域若い女性の意思決定の場への参画ワークショップ」(台湾) 1人参加
- ・ジュリエット・ロー セミナー 2019 ポーランド1人、メキシコ1人参加

